

産地構造転換パイロット事業

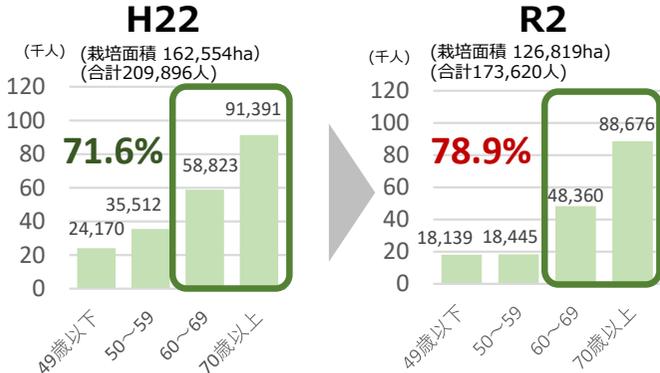
スマート技術導入を前提とした樹園地の環境整備や流通事業者等との連携等、生産性を飛躍的に向上させた生産供給体制モデルを構築する都道府県等コンソーシアムの実証の取組を支援します。併せて、モデルを全国に展開させる取組を支援します。

現状

- ・ 高齢化、後継者不足が深刻で栽培面積の減少に歯止めがきかない
- ・ 季節的な労働ピークが存在し、雇用労働力の確保や省力化が急務
- ・ 経営体数の少ない主業経営体が販売金額ベースでは7割を占め、高齢で小規模な生産者が多数を占める構造の中、ぜい弱な生産基盤のため、国産果実の安定調達を求める実需の声に答えきれていない

<基幹的農業従事者数>

仕事として主に自営農業に従事した世帯員数



<果樹を販売した経営体の類型別シェア>



資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

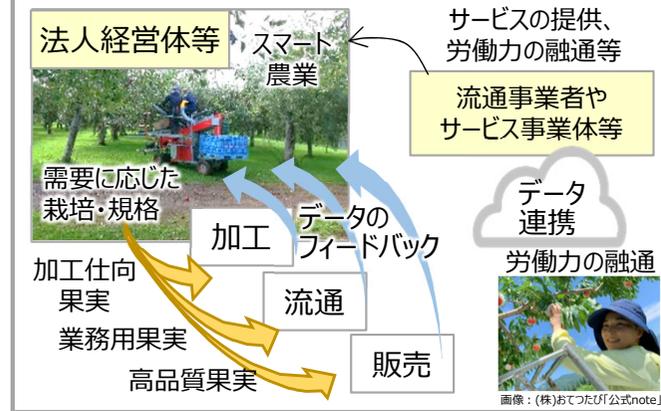
産地構造の転換に向けたパイロット実証への支援

作業合理化、省力栽培技術・品種の導入、人材確保等を図り、生産性を飛躍的に向上させた生産供給体制モデルを構築する都道府県等コンソーシアムの実証の取組を支援

- ・ 流通・販売分野と連携・一体化し、データ連携による全体最適化（労力配分等）や規格変更による超省力化を実現
- ・ 加工・販売といった他産業展開やサービス事業者の利用による臨時雇用労働力不足の解決

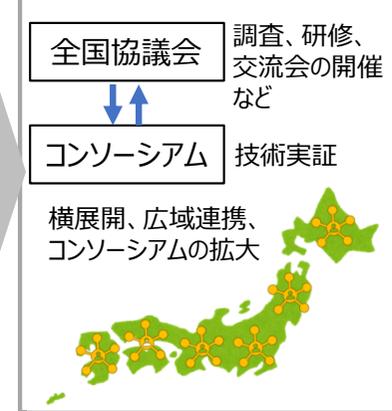
パイロット実証事業

コンソーシアムによるモデルの構築



全国推進事業

全国的な取組に展開



将来にわたり需要に応えられる生産供給体制



補助対象（定額（10/10、1/2相当）、1/2以内）

- (1) 技術研修、実証ほの設置等
- (2) システムの構築
- (3) 小規模園地整備、改植・新植等
- (4) 機械・設備のリース導入等のメニューから組み合わせ

事業の流れ



補助対象（定額）

- (1) 検討会・研修会等の開催
- (2) 優良事例調査等

事業の流れ



- 収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、農業者等が行う高性能な**機械・施設の導入**等に対して総合的に支援する。
- 需要の変化に対応するため、産地計画に位置付けられた担い手となる先導的な農業者等を対象として**優良品目・品種への改植・新植・未収益期間の幼木管理、小規模園地整備**等の取組を支援する。

【収益性向上対策・生産基盤強化対策】

（補助率：1/2以内）

1 収益性向上対策（品目共通）

（1）補助対象となる取組

- ・収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、計画の実現に必要な**農業機械の導入、生産資材の導入、集出荷施設の整備**等
- ・施設園芸産地において、燃油依存の経営から脱却し省エネ化を図るために必要な**ヒートポンプ等の導入**等

（2）優先枠

基金事業：スマート農業推進枠（20億円）、施設園芸エネルギー転換枠（10億円）、持続的畑作確立枠（6億円）

整備事業：中山間地域の体制整備（30億円）、農産物輸出に向けた体制整備（10億円）



選果施設の整備



農業機械のリース導入・取得



雨よけ施設の資材



ヒートポンプのリース導入・取得

2 生産基盤強化対策（品目共通）

補助対象となる取組

- ・果樹園等の生産基盤を次世代に円滑に引き継ぐための再整備・改修、継承ニーズのマッチング等の生産基盤の強化・継承等

【新市場獲得対策】（補助率：1/2以内等）

＜園芸作物等の先導的取組支援＞

1 果樹の改植・新植・未収益期間の支援

優良品目・品種、省力樹形の導入（改植・新植と一体的に行う果樹棚等の設置も対象）
未収益期間の幼木管理（支援単価：22万円/10a）
※面積要件：地続きで概ね2a以上



幼木管理

2 小規模園地整備、設備の導入

園内道の整備、傾斜の緩和、土壌土層改良、用水・かん水施設の設置、排水路の整備、多目的防災網、防霜ファン、モノレール等の設置等
※面積要件：地続きで概ね10a以上（土壌土層改良は概ね2a以上）



多目的防災網

3 改植・新植に伴う雨よけ設備の設置

病害の低減に効果が認められる雨よけ設備の設置
※面積要件：地続きで概ね10a以上
※補助金上限額：160万円/10a



簡易雨よけ設備

4 高品質生産を維持するための資材実証

社会情勢や自然環境の変化に対応するための、かんきつマルドリ栽培の被覆資材の代替資材や生理障害の軽減資材等の大規模実証
※面積要件：実証面積が概ね2ha以上



透湿性反射シートマルチ